



# 自衛隊栃木地方協力本部

## 高根沢高校で「スマートハート」を実施 ～自衛隊と高校をつなぐ絆～

自衛隊栃木地方協力本部大田原地域事務所（所長 高井一陸尉）は、5月29日（水）、栃木県立高根沢高等学校において、スマートハートを実施した。

スマートハートとは、自衛隊が持つ発声方法などのノウハウを就職面接に活かせないかと高校からの依頼を受け、「凛とした心を育む」授業として計画し、平成25年から希望する高校で行われているもの。今回は、校長先生からの「大きな声をだす大切さを学ばせてください」とのミッションもプラスされていた。

当日は、3年生128名が参加し、前半は「気を付け」や「礼」などの動作や発声練習を行った。後半は、入室から退出までの一連の動作を練習した。10名の教官役の陸・海・空の制服を着た隊員たちは、打ち合わせを何度も行い、各班のカラーを出した指導方法を入念に準備した。そのため、真剣に学ぼうとする生徒たちの姿に自身の学生時代の姿を重ねて胸を熱くさせていた。指導を受けた学生からは、「厳しい指導の中にユーモアもあり、楽しく学べました」「大きな声を出すのは、恥ずかしかったけど、面接で大切なことがわかりました」「今日、教わったことを今後に活かします」などの意見を聞くことができた。

大田原地域事務所は、「今後も、『スマートハート』を継続し、学校との連携と信頼関係を強化し地域密着型の広報に邁進していく」としている。



自己紹介をする教官役の自衛官 10名



「気を付け」の指導中



授業の最後は、相互に礼

## 栃木県民の日記念イベントに参加！ ～栃木県庁15階展望台フロアで広報展～

自衛隊栃木地方協力本部（本部長 加藤 浩一陸佐）は、6月15日（土）栃木県庁で行われた「栃木県民の日記念イベント」で広報展を行った。

イベントでは栃木県文化財オフィサーで歌手の相川七瀬氏と栃木県知事のトクシヨウを始め、とちきやライズステーション（ゆるきゃら）、とちぎナイスハートバザール in けんちゃんようなど、多くの屋台やブースが出展され、約3万人の来場者が訪れた。

広報展では、災害派遣活動パネル、戦闘糧食の展示及び缶バッジ作成を行い、ブースでは「子供が自衛隊大好きなんです」と、できたての名前入り缶バッジをさっそく胸につけて嬉しそうにする親子や災害派遣活動パネルを見た来場者から「自衛隊さん、いつもありがとございます。頑張ってください」等、感謝の言葉をいただくなど、多くの来場者に自衛隊をPRすることができた。

栃木地本は「今後も、自治体との連携を継続していくとともに、広報イベントを通じて、地域の皆様に自衛隊を身近に感じていただけるよう活動し、自衛隊への理解の促進及び募集広報活動に邁進していく」としている。



缶バッジ作成コーナーでバッジを選ぶ「ふうにゃ」（小山市PRキャラクター）



自衛隊ブースを訪れた栃木市キャラクター「とち介」



自衛隊ブースを見学する来場者

